

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目 150分

## 解答形式

記述・論述

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

総設問数はやや減少したものの(30→27), 全体の分量としては大きな変化はなかった。

昨年同様, 思考力・判断力を要する設問が含まれており, 全体としては同程度の難易度であった。

## 出題の特徴や昨年との変更点

例年どおり, 問題文や図表を読み取って判断する思考力を要する問題が出題された。

昨年までと比べて正誤問題などの選択式が増えた。なお, 正誤問題は該当する選択肢をすべて選ぶ形式であった。

第3問には, 立体異性体に関する知識がないと判断しづらい問題が含まれていた。

## その他トピックス

2020~2024年は各大問がI・IIに分かれていたが, 今年は昨年と同様, 第1~3問のいずれもI・IIに分かれていなかった。

2017~2024年は第1問が有機, 第3問が理論の問題であったが, 今年は昨年と同様, 第1問が理論, 第3問が有機であった。

## &lt;大問分析&gt;

| 番号  | 出題形式             | 出題分野・テーマ | 範囲         | コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)                                                                                  | 難易度 |
|-----|------------------|----------|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 第1問 | 記述, 論述<br>計算, 選択 | 理論       | 化学基礎<br>化学 | 化学結合<br>燃焼エンタルピーと生成エンタルピー<br>化学平衡(ルシャトリエの原理)<br>ボルタ電池の原型<br>固体酸化物型燃料電池<br>塩化ナトリウム水溶液の電気分解<br>塩酸の濃度とpHの関係 | やや易 |
| 第2問 | 記述, 論述<br>計算, 選択 | 無機, 理論   | 化学基礎<br>化学 | ゼオライト<br>フッ化水素酸の取り扱い<br>イオン交換とその平衡<br>ハメットの酸度関数                                                          | やや難 |
| 第3問 | 記述, 論述<br>選択     | 有機       | 化学         | 有機化合物の物理的・化学的性質<br>沸点, 臭素との反応, ヨードホルム反応<br>酸性化合物<br>立体異性体(鏡像異性体(軸不斉も含む), ジアステレオマー, メソ体)                  | 標準  |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

数多くの演習問題を解いて, 思考力と計算力を養おう。目新しい題材が取り上げられることも多いので, 問題文の情報を読み取り, 知識や原理・法則と組み合わせて判断する力を養おう。さらに, 論述問題の対策も十分に積んでおこう。